

# 地域おこし協力隊活動報告

2017年4月から2020年3月までの3年間の活動を報告します。

1年目は農作業になれること。2年目は効率よく農作業をできること。3年目は定住や就農を見据えた活動をしました。

## 農業研修

(有)ファームみなみの郷さんで農業研修

隊員の活動の殆どはファームみなみの郷さんの農業研修でした。

・稲作は五泉に来て初めて体験しました。水管理から除草までこんなに手間が掛かっていることを初めて知りました。

・五泉の特産品である里芋は、株を運ぶのもばらすのも体力を使いました。

・露地野菜の播種、定植から収穫調整までいろいろ体験しました。大根やキャベツはコンテナに積むと重くて、足場のぬか  
るんでいる圃場では移動に苦労しました。

・トラクタ、コンバイン、管理機など農業機械の運転や操作を体験しました。手作業より早く楽に農作業が行えました。



里芋の芽だし作業中の写真  
足腰に負担がかかります。

## その他の農業研修

- ・ファームみなみの郷の阿部社長や五泉市農林課から紹介いただき、さつまいもやミニトマト、ジャガイモなどファームみなみの郷で栽培していない作物を1日から数日の短期間ですが体験できました。
- ・農業普及指導センターや五泉市農林課から紹介していただき、新潟県内の農業施設や農家の視察、座学研修など行いました。



トマトの養液栽培の写真  
連作障害がないので  
安心して連作できます。

## 田口農園

隊員二年目と三年目に(有)ファームみなみの郷の里さんの農地を借りて自分自身で2アールほどの農園（田口農園）を営みました。

植える作物、施肥設計、品種など作付計画を立て、トラクタで耕耘し、畝立て、マルチ張り、播種、定植、除草、収穫、調整、出荷まで一通り経験しました。



虫や動物による食害で作物に被害が発生して収穫できなかつたりしましたが勉強になりました。

多めに生産した枝豆とネギは直売所に出荷しました。

自分が生産した農産物が売れた時は感動しました。

1年目の田口農園の写真  
7月下旬から8月中旬まで雨が降らない  
ので用水路から水を引きこみました。

## 就農活動

五泉市で就農を目指して、新規就農した先輩農業者の話を伺ったり、農業普及指導センターや農協に相談して就農計画を立てましたが、自分の力量では農業で生計を立てていくのは不可能と判断しました。

## 情報発信

五泉市、農業の魅力をフェイスブックにて発信しました。

投稿回数

平成29年度 41回、平成30年度 34回、令和元年度 39回

## ～三年の任期を終えて～

(有)ファームみなみの郷さん、五泉市の農家の皆さん、行政、農協の方には大変お世話になりました。農業は重労働で作業中の負傷リスクは他の業種よりも高いですが、衣食住の食を支える大切な仕事です。夏の暑さや冬の寒さのなかでの農作業はつらいですが、多くの方に自分の育てた農産物を食べていただけるのでやりがいがありました。

研修や講演で話を伺い、五泉だけでなく、新潟県、全国で農業者の高齢化と後継者不足を実感しました。これから五泉市でも田圃や畑は余ってくるので、新たに五泉で農業を始める方が現れることをお祈り申し上げます。

私は五泉を離れることになりましたが、五泉で学んだ三年間は貴重な財産です。あっという間の三年間でしたが、お世話になりました。

## ～五泉農業の一年間の営み～

一年間で作った作物や農業研修などを紹介します。

### ・4月

稲、里芋、アスター（仏花）の播種や定植を行いました。

右の写真は芽出しした里芋の種芋です。



### ・5月

田植えを行いました。

夏野菜の播種や定植を行いました。

右の写真は田植え機です。都会では見ることはありません。



### ・6月

夏野菜の播種や定植を行いました。

4月、5月に播種定植した作物は圃場管理（水やり、除草）を行います。

右の写真は私自身がトラクタを運転して畝立てしている所です。



・ 7 月

春の作物は圃場管理又は収穫になります。

キャベツ秋冬野菜の播種、

8月の忙しくなる前に認定農業者先進地合同視察研修で新潟県内の農家や施設を視察しました。

右の写真は7月上旬の里芋の写真です。これから8月にかけて1メートル以上成長します。



・ 8 月

盆に合わせてアスター（仏花）の収穫を行います。天候不良で盆に花が咲かないこともあるので生育の難しさを学びました。

8月下旬になると稲刈りが始まります。

秋冬野菜の播種、定植を行います。

右の写真は自分自身でラッピングしたアスターです。



・ 9 月

雨の日以外は稲刈りをします。稲刈りの手が空いているときに里芋を収穫します。一年で一番忙しいです。



右の写真は新潟の新たなブランド米『新之助』です。コシヒカリより背丈が低いので、強風でも倒れにくく収穫がしやすいです。

・ 10 月

稲刈りが終わり、里芋の収穫が始まります。

右の写真は田口農園の里芋です。立派に育ってうれしかったです。



・ 11 月

里芋の収穫が続きます。霜が降りる前に収穫をめざします。収穫が終わると調整出荷になります。



秋冬野菜の収穫が始まります。

右の写真は収穫中のブロッコリーの写真です。

・ 1 2 月

冬野菜の収穫以外では圃場に出ることがなくなり、屋内で里芋の調整出荷作業が多くなります。



右の写真は倉庫に積まれた里芋の山です。自分の身長よりも高く積まれています。

・ 1 月

1 2 月と同じ作業になります。ビニールハウスに雪が積もって除雪作業が必要になることがあります。除雪は体力を使うので良い運動になります。



右の写真は雪に埋もれた圃場の写真です。雪の下に人参が埋まっています。雪が融けてから収穫します。

・ 2月

里芋の種芋作りが始まります。屋内でストーブにあたりながら作業するので暖かいです。



右の写真は種芋をコンテナに詰めている所です。稲殻と新聞紙で包んで加温器で温めて芽を出します。

・ 3月

春作業の準備に入ります。倉庫の清掃片付け、稲の種籾や肥料の搬入します。



圃場に出て堀掃除を行うと筋肉痛になりますが、鈍った体には良い運動になります。

右の写真は芽だした里芋の種芋です。早ければ3月下旬から里芋の定植が始まります。